

株主の皆様へ

第51期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日

お客様の経営効果と企業価値を高めるために、 創立50周年に向け、社員一同邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

オービックは、創業以来50年間、“お客様第一主義”を理念に掲げ、お客様にご満足いただける“経営課題の解決”に首尾一貫して取り組んでまいりました。私共、情報サービス企業の仕事は、単に製品や技術をご提供することではありません。

お客様の経営課題を共に見極め、情報システムを通じて業務改善や経営改革に取り組み、売上の増大、収益性の向上を実現していただくこと。つまり、ビジネス環境の変化を予見し、お客様の企業価値・経営効果を高め、持続的成長を将来にわたりご支援していくことこそ、当社の企業使命といえます。

当中間期は、働き方改革や経営コスト見直しの機運の高まりとともに、業務の効率化、標準化に踏み切る企業が増え、幅広い業種でシステム投資が活発化しました。また、早期稼働や維持管理コストの抑制などを目的としたクラウドサービスの需要も拡大しました。このような状況の中、当社の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、お客様の企業特性に最適な業務統合と効率化を実現するERPソリューションとして、様々な業界で高いご支持をいただきました。その結果、連結業績は上半期として17期連続の営業増益を達成いたしました。

変化の激しい時代ですが、変化にこそ技術革新や新規ビジネスを生む好機があるといえます。当社は、来春創立50周年という大きな節目を迎えます。これまで支えてくださった皆様への感謝を胸に、より大きなご期待にお応えすることを目標に、社員一同、一層の努力を重ねてまいります。変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役会長／CEO

野田 順弘



代表取締役社長／COO

橋 昇一

中間決算ハイライト(連結)

おかげさまで当中間期も、 過去最高の業績を更新いたしました。

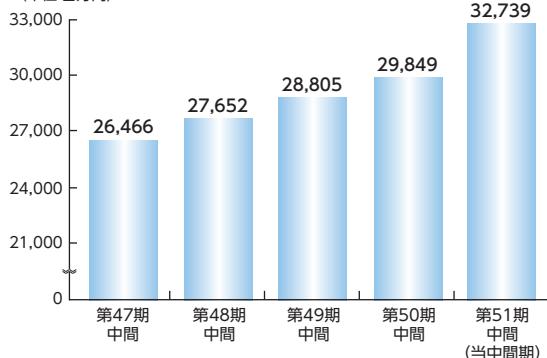
当情報サービス業界においては、システムの統合や更新需要の増加等により、企業のシステム投資は回復傾向が見られます。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、製販一体体制を継続し、顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、金融業向け、サービス業向け、流通業向け、製造業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。高まりつつあるクラウドコンピューティングのニーズにも、顧客に合わせた提案で対応しております。また、システムサポート事業も安定的に伸長し、業績に寄与いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高327億39百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益160億10百万円(同15.5%増)、経常利益は175億25百万円(同14.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は129億38百万円(同18.8%増)となりました。

売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



主力製品／統合業務ソフトウェア「OBIC7」

短期導入・早期稼働で経営効果を最大化。
統合業務ソフトウェア「OBIC7」が選ばれる理由。



OBIC7が選ばれる理由 1 短期導入・早期稼働

「会計」を中心にあらゆる業界・業種の業務・経営管理をフルカバー。短期導入・早期稼働で、スピードが求められる改善・経営改革を強力にサポート。

OBIC7が選ばれる理由 2 豊富な業界ノウハウ

あらゆる業界・業種を網羅する豊富な業界ソリューションを用意。積み重ねた経験・ノウハウと多数の特許技術が、高度な解決力を発揮しています。

OBIC7が選ばれる理由 3 業務の標準化

「会計」を軸に、業務プロセス全体の「標準化・効率化」を実現。業務改善・経営改革を推進し、企業経営の最適化に貢献。

OBIC7が選ばれる理由 4 経営効果を早期発揮

会計的視点からの情報活用と分析により経営管理を強化、経営効果を早期に実現。企業やグループ企業の持続的成長を、将来にわたり一貫サポートします。

OBIC7が選ばれる理由 5 ワンストップ・ソリューション

オービックは、創業以来、自社開発・直接販売・自社サポートに徹してきました。お客様と共に課題に向き合い、開発からシステム構築、運用、サポートはもちろん、情報システム全体を支える「クラウド環境」までの一切を、他人任せにせず直接提供しています。

このワンストップ・ソリューション・サービスは、当社が長年育んできた独自のビジネスモデルとして、今では競合他社との差別化の大きなポイントとなっています。

各業界でご支持を得て「OBIC7シリーズ」が累計導入社数15年連続No.1に輝きました。

◎ 当社の「OBIC7シリーズ」は幅広い業界で圧倒的なご支持を獲得しています

グローバル環境やビジネスのトレンドが目まぐるしく変化する中、統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、幅広い業界のお客様から圧倒的なご支持を獲得してきました。株式会社矢野経済研究所のERP累計導入社数調査において、15年連続でNo.1を達成。また、同調査における中堅・大手市場(年商100～1,000億円)の売上高ランキングでも、21.9%のシェアで第1位を獲得いたしました^(※)。

※：株式会社矢野経済研究所「ERP市場の実態と展望2017」
2002～2016年主要ベンダー(ライセンス売上高シェアトップ10)における累計導入社数(2016年12月現在)

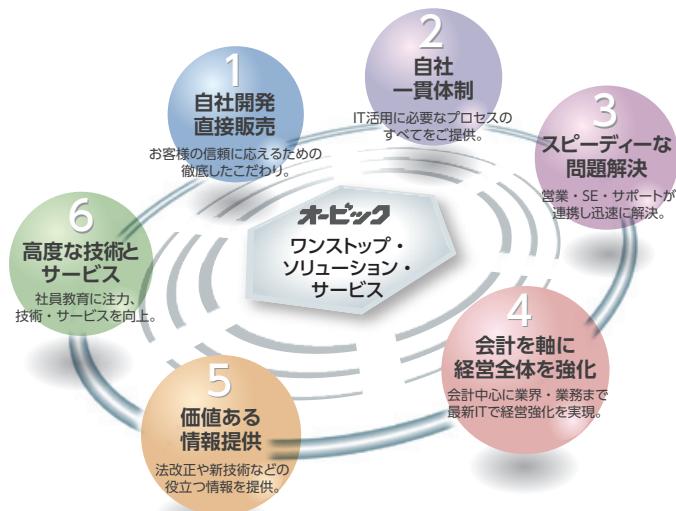


ERP累計導入社数



◎ 最新のテクノロジーと豊富な経験を活かし個々のお客様に最適な課題解決をご提案

業務改善・経営改革には、スピード、コストパフォーマンスが求められます。オービックは、短期導入・早期稼働を実現するシステム開発、ソリューション提供に一貫して磨きをかけてきました。基幹システムに加えて業界・業務ソリューションまでをクラウド提供する「ERP&クラウドソリューション」により課題をスピード解決。豊富な業界ノウハウを活かした細業種対応により、個々のお客様に最適な解決策を提案しています。



上半期のトピックス

◎「オービック情報システムセミナー・2017 夏」を開催

年3回、全国6事業所において、お客様の業務改善や経営改革、新規事業計画などの実践的参考になる「オービック情報システムセミナー」を開催しています。第一線で活躍する専門家による基調講演をはじめ、解決事例研究や最新ソリューションの体験デモまで、お役立ち情報満載のセミナーには、毎回多数のお客様に参加いただいています。また、各業界・業務の個別相談にお答えするワークショップは、お客様の課題を解決する実践的な場としてご好評いただいています。6・7月に開催した同セミナー・2017 夏は、全国6会場とも大盛況で、ご来場者数は過去最高記録を更新しました。



情報システムセミナー



ヒューマンキャピタル 2017



第2回 会計・財務EXPO

◎「第2回 会計・財務EXPO」をはじめ外部の展示会、フェアにも積極的に出展

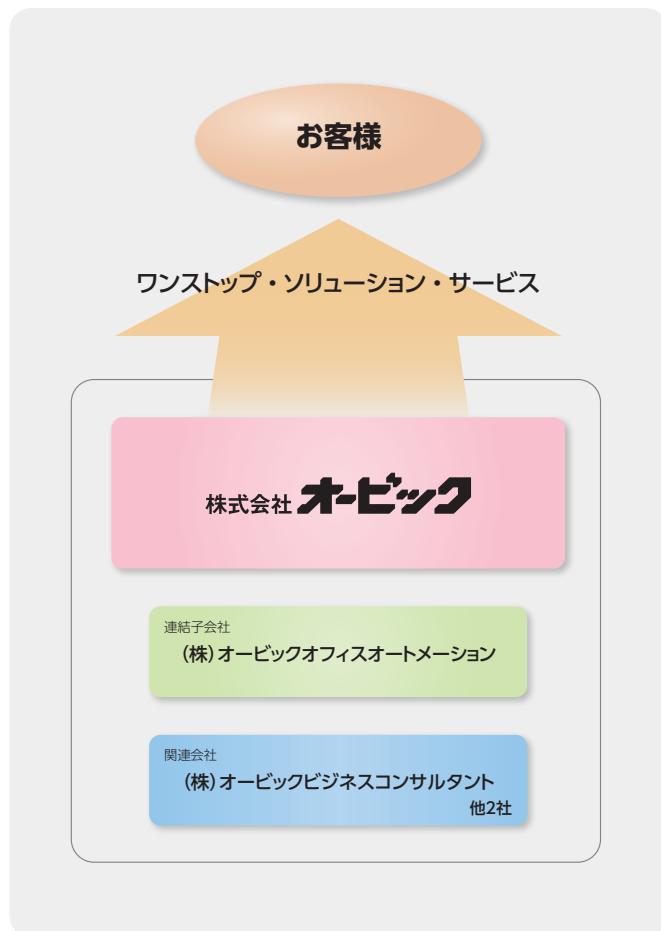
7月には、会計・財務に関する様々なサービスやソリューションを紹介する「総務・人事・経理ワールド2017 第2回 会計・財務EXPO」(7/26~28 東京ビッグサイト)に出展。当社ブースでは、「OBIC会計情報ソリューション」を中心に、あらゆる業界・業種に対応する最新のソリューションをご披露しました。

その他「第8回クラウドコンピューティングEXPO春」(5/10~5/12 東京ビッグサイト)、「ヒューマンキャピタル2017」(6/28~30 東京国際フォーラム)、「第28回設計・製造ソリューション展」(6/21~23 東京ビッグサイト)にも出展。当社の強みをアピールしご好評いただきました。

オービックグループ

当社グループは、株式会社オービック(当社)および連結子会社1社ならびに関連会社3社等により構成されており、事業は主に企業情報システムのシステムインテグレーション(SI)事業、システムサポート(SS)事業、オフィスオートメーション(OA)事業および業務用パッケージソフト(PKG)事業を行っております。

◎ オービックグループ



◎ 営業の概況

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

■システムインテグレーション(SI)事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。一方で、ハードウェアの売上高は減少いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、175億68百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は85億58百万円(同12.6%増)となりました。

■システムサポート(SS)事業

主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」および「クラウドソリューション」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、112億74百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益は68億86百万円(同19.5%増)となりました。

■オフィスオートメーション(OA)事業

主力の業務用パッケージソフトの販売が好調に伸長したことに加え、印刷サプライやオフィス用品、オフィス家具の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、38億96百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益は5億66百万円(同14.8%増)となりました。

連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期中間期	当期中間期
		(平成29年3月31日現在)	(平成29年9月30日現在)
資産の部			
流動資産		110,074	113,421
現金及び預金		98,121	101,224
受取手形及び売掛金		9,520	9,638
その他		2,432	2,558
固定資産		89,987	96,700
有形固定資産		31,259	35,865
建物及び構築物		3,022	2,969
土地		27,220	27,620
その他		1,017	5,275
無形固定資産		78	68
投資その他の資産		58,649	60,765
資産合計		200,061	210,121

総資産／純資産



(単位:百万円)

科目	期別	前期中間期	当期中間期
		(平成29年3月31日現在)	(平成29年9月30日現在)
負債の部			
流動負債		15,566	15,488
固定負債		6,993	7,072
負債合計		22,560	22,561
純資産の部			
株主資本		173,831	182,544
資本金		19,178	19,178
資本剰余金		19,530	19,530
利益剰余金		157,260	165,973
自己株式		△ 22,137	△ 22,137
その他の包括利益累計額		3,669	5,015
その他有価証券評価差額金		5,373	6,720
土地再評価差額金		△ 1,705	△ 1,705
退職給付に係る調整累計額		1	0
純資産合計		177,500	187,559
負債・純資産合計		200,061	210,121

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期中間期	当期中間期
		(平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)	(平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,047	11,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 241	△ 4,293
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,225	△ 4,225
現金及び現金同等物の増減額		4,580	3,103
現金及び現金同等物の期首残高		82,502	98,121
現金及び現金同等物の四半期末残高		87,082	101,224

● 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

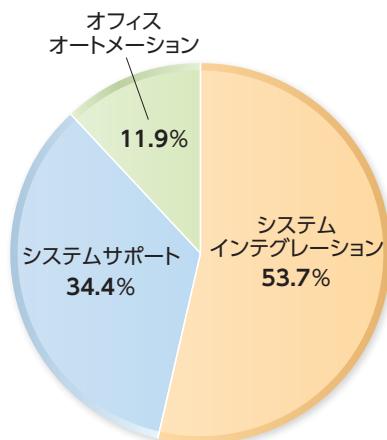
科目	期別	前中間期	当中間期
		(平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)	(平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)
売上高		29,849	32,739
売上原価		10,173	10,758
売上総利益		19,675	21,980
販売費及び一般管理費		5,816	5,969
営業利益		13,859	16,010
営業外収益		1,444	1,571
営業外費用		57	56
経常利益		15,246	17,525
特別利益		—	436
特別損失		0	0
税金等調整前四半期純利益		15,246	17,961
法人税等		4,351	5,023
四半期純利益		10,894	12,938
親会社株主に帰属する四半期純利益		10,894	12,938

● 中間連結株主資本等変動計算書(要旨)

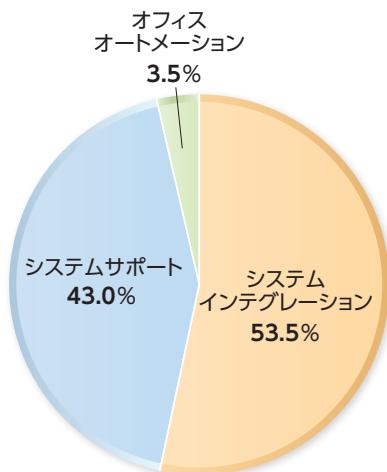
当中間連結会計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日) (単位:百万円)

純資産合計	
平成29年4月1日残高	177,500
中間連結会計期間中の変動額	
剰余金の配当	△ 4,225
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,938
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	1,345
中間連結会計期間中の変動額合計	10,058
平成29年9月30日残高	187,559

● セグメント別売上高構成



● セグメント別営業利益構成



会社概況 (平成29年9月30日現在)

社名 株式会社オービック
 設立 昭和43年4月8日
 資本金 191億7,880万円
 社員数 2,095名(連結)
 主要事業 システムインテグレーション事業
 システムサポート事業
 オフィスオートメーション事業

事業所 ●東京本社
 〒104-8328 東京都中央区京橋2-4-15
 TEL:03-3245-6500 FAX:03-3245-6595
 ●大阪本社
 〒541-0059 大阪市中央区博労町3-5-1
 (御堂筋グランタワー)
 TEL:06-6245-3231 FAX:06-6245-1946
 横浜支店 名古屋支店 京都支店
 福岡支店 北関東支店
 松本営業所 静岡営業所 広島営業所

役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役会長	野田 順弘
代表取締役社長	橘 昇一
専務取締役	加納 博史
常務取締役	川西 篤
取締役相談役	野田 みづき
取締役	藤本 隆夫
取締役	井田 秀史
取締役	上野 剛光
取締役	佐藤 登
社外取締役	五味 康昌
社外取締役	江尻 隆
常勤監査役	小屋町 朗
社外監査役	坂和 章平
社外監査役	長尾 謙太

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

●発行可能株式総数 398,400,000株
 ●発行済株式の総数 99,600,000株
 ●株主数 3,157名
 ●外国人持株数 35,774,406株
 ●少数特定者持株数 60,091,365株
 ●浮動株数 1,656,982株
 (1単元以上50単元未満の合計)
 ●投資信託株数 3,706,100株
 ●年金信託株数 1,105,900株

●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ノダ・マネジメント	16,909	19.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,501	8.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	5,391	6.06
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	4,787	5.38
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	3,491	3.92
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,310	3.72
野田 順弘	2,881	3.23
野田 みづき	2,781	3.12
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	2,211	2.48
ジェーピー モルガン チェース オッペンハイマー ジャスデック レンディング アカウト	1,827	2.05

(注) 1.当社の所有する自己株式10,649千株は、上記の表には含めておりません。
 2.上記信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式を含んでおります。
 3.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.obic.co.jp

(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

「オービックシーガルズ」が 「第39回パールボウル」で見事に優勝！

アメリカンフットボールチーム「オービックシーガルズ」が、6月19日、東京ドームで開催されたアメリカンフットボール東日本社会人選手権「第39回パールボウル」決勝戦においてIBMビッグブルーに勝利。3年ぶり6度目の優勝を飾りました。9月からは秋季リーグが開幕、社会人日本一に向けた、新たな熱闘が繰り広げられています。



photo by ©Daisuke Kohno

クラシック音楽をもっと身近に楽しく！ 「オービック・スペシャル・コンサート」を開催。

当社が2005年から毎年お届けしている「オービック・スペシャル・コンサート」。今では、東京・名古屋・大阪・福岡の皆様から、親しみやすいクラシックコンサートとしてご好評をいただいています。上半期は東京、名古屋で開催。東京会場のサントリーホールでは、楽曲の背景解説や映像を採り入れた斬新な演出が、お客様を魅了しました。





photo by ©小林 靖

株式会社 **オービック**

Web サイト www.obic.co.jp

東京…〒104-8328 東京都中央区京橋 2-4-15

TEL 03-3245-6500

大阪…〒541-0059 大阪市中央区博労町 3-5-1 (御堂筋グランタワー) TEL 06-6245-3231